

平成25年度全国学力・学習状況調査の結果の概要(和歌山県)

1 調査の概要

(1)調査日 平成25年4月24日(水)

(2)調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。また、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

(3)調査内容

①調査を実施した学校・児童生徒

全公立小学校第6学年、特別支援学校小学部第6学年

全公立中学校第3学年、特別支援学校中学部第3学年

	国語A	国語B	算数A・数学A	算数B・数学B
(小6) 学校・児童数	249校・8,765人	249校・8,766人	249校・8,766人	249校・8,767人
(中3) 学校・生徒数	126校・8,540人	126校・8,544人	126校・8,549人	126校・8,542人

②教科に関する調査

・主として「知識」に関する問題…[国語A、算数A・数学A]

・主として「活用」に関する問題…[国語B、算数B・数学B]

③生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

・児童生徒に対する調査

(学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査)

・学校に対する調査

(指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査)

2 教科に関する調査結果

(1)全国(公立)の平均正答率の状況

単位：%

	小国A	小国B	小算A	小算B	中国A	中国B	中数A	中数B
H19	81.7	62.0	82.1	63.6	81.6	72.0	71.9	60.6
H20	65.4	50.5	72.2	51.6	73.6	60.9	63.1	49.2
H21	69.9	50.5	78.7	54.8	77.0	74.5	62.7	56.9
H22	83.2-83.5	77.7-78.0	74.0-74.4	49.1-49.5	75.0-75.2	65.1-65.5	64.4-64.8	43.1-43.5
H24	81.4-81.7	55.4-55.8	73.1-73.5	58.7-59.1	75.0-75.2	63.2-63.4	62.0-62.3	49.2-49.5
H25	62.7	49.4	77.2	58.4	76.4	67.4	63.7	41.5

※ H22, H24は、抽出調査による平均正答率の95%の信頼区間。H23は東日本大震災の影響により実施見送り。

(2)和歌山県(公立)の平均正答率の状況

単位：%

	小国A	小国B	小算A	小算B	中国A	中国B	中数A	中数B
H19	81.1	59.0	82.6	62.9	80.3	67.0	72.8	58.2
H20	64.3	47.4	72.7	48.9	71.9	57.0	64.3	48.8
H21	69.8	48.4	79.4	53.0	74.9	70.7	63.1	56.0
H22	81.8-83.2	75.0-77.0	72.6-74.6	46.9-48.9	71.8-73.0	61.1-62.7	64.0-65.7	41.0-43.2
H24	79.2-80.7	50.9-52.9	72.0-73.8	55.8-57.7	73.9-75.2	61.0-62.5	62.0-63.8	47.4-49.7
H25	62.4	47.5	76.4	56.9	74.4	64.3	63.4	40.3

※ H22, H24は、抽出調査による平均正答率の95%の信頼区間。H23は東日本大震災の影響により実施見送り。

(3)和歌山県（公立）の平均正答率と全国（公立）の平均正答率との差の比較

単位:%

	小国A	小国B	小算A	小算B	中国A	中国B	中数A	中数B
H22	-0.8	-1.8	-0.6	-1.4	-2.7	-3.4	+0.3	-1.2
H24	-1.7	-3.7	-0.4	-2.2	-0.5	-1.6	+0.8	-0.8
H25	-0.3	-1.9	-0.8	-1.5	-2.0	-3.1	-0.3	-1.2

※ H22, H24は、抽出調査による推計値との差。H23は東日本大震災の影響により実施見送り。

○小学校では、算数A以外は、平成24年度に比べて、全国平均との差が小さくなり、国語Aは全国平均とほとんど差がなくなった。中学校では、平成24年度に比べて、すべての調査で下回った。ただし、平成22年度と比べると、小学校、中学校ともに、ほぼ同等の結果となった。

(4)和歌山県（公立）の無解答率平均と全国（公立）の無解答率平均との比較

(小学校)

単位:%

	国語A		国語B		算数A		算数B	
	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国
H24	3.4	3.0	8.6	6.6	2.2	2.3	5.6	4.6
H25	10.4	10.7	15.3	13.6	1.5	1.7	6.8	6.3

(中学校)

単位:%

	国語A		国語B		数学A		数学B	
	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国
H24	3.5	3.5	5.7	4.8	2.8	2.7	13.7	13.1
H25	2.8	2.4	3.7	2.8	5.8	5.3	19.1	16.7

○小学校国語B、中学校数学Bは全国平均に比べてやや高く、その他の調査は全国平均とほぼ同等の結果となった。

3 質問紙調査の結果

(1)【学習に対する関心・意欲・態度】「授業はよく分かりますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校、中学校とも、国語では全国との差が縮まり、算数・数学では、ともに全国を上回る結果となった。

(小学校)

児童質問紙	県	全国	差
H24国語	82.3	83.1	-0.8
H25国語	79.6	79.9	-0.3
H24算数	79.6	79.1	0.5
H25算数	80.9	80.2	0.7

(中学校)

生徒質問紙	県	全国	差
H24国語	66.2	71.2	-5.0
H25国語	68.7	71.9	-3.2
H24数学	63.2	64.9	-1.7
H25数学	71.8	70.5	1.3

(2)【学習に対する関心・意欲・態度】「授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」について、「当てはまる」と回答した割合は、全国と比べ、小学校では国語の差が縮まり、中学校では国語、数学とも、差が縮まった。

(小学校)

児童質問紙	県	全国	差
H24国語	52.6	55.7	-3.1
H25国語	52.1	53.9	-1.8
H24算数	66.5	68.4	-1.9
H25算数	64.3	66.2	-1.9

(中学校)

生徒質問紙	県	全国	差
H24国語	37.6	41.9	-4.3
H25国語	38.8	41.4	-2.6
H24数学	32.4	36.9	-4.5
H25数学	35.0	35.7	-0.7

- (3) 【学校の指導・取組】「普段の授業では、児童生徒の間で話し合う活動をよく行っていると思いますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校、中学校ともに増加し、全国との差も縮まった。

(小学校)

児童質問紙	県	全国	差
H 2 4	74.5	76.9	- 2.4
H 2 5	77.7	79.3	- 1.6

(中学校)

生徒質問紙	県	全国	差
H 2 4	51.9	60.9	- 9.0
H 2 5	56.4	64.7	- 8.3

- (4) 【学校の指導・取組】「学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか」について、「難しい」「どちらかといえば難しい」と回答した割合は、小学校、中学校ともに減少し、全国との差も縮まった。

(小学校)

児童質問紙	県	全国	差
H 2 4	66.8	61.6	5.2
H 2 5	61.5	59.3	2.2

(中学校)

生徒質問紙	県	全国	差
H 2 4	78.3	72.4	5.9
H 2 5	73.4	67.9	5.5

- (5) 【学校の指導・取組】「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校、中学校ともに依然全国との差が大きい。

(小学校)

児童質問紙	県	全国	差
H 2 4	53.1	61.3	- 8.2
H 2 5	51.8	59.4	- 7.6

(中学校)

生徒質問紙	県	全国	差
H 2 4	41.2	50.4	- 9.2
H 2 5	41.4	52.2	-10.8

- (6) 【家庭学習】「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」について「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合は、小学校、中学校ともに増加し、全国との差も縮まった。

(小学校)

児童質問紙	県	全国	差
H 2 4	50.2	58.0	- 7.8
H 2 5	52.7	58.9	- 6.2

(中学校)

生徒質問紙	県	全国	差
H 2 4	36.7	42.9	- 6.2
H 2 5	39.0	44.5	- 5.5

- (7) 【家庭学習】「家で、学校の授業の復習をしていますか」について「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合は、小学校は増加し、全国との差が縮まった。中学校は増加したが、依然全国との差が大きい。

(小学校)

児童質問紙	県	全国	差
H 2 4	43.1	50.2	- 7.1
H 2 5	46.1	51.4	- 5.3

(中学校)

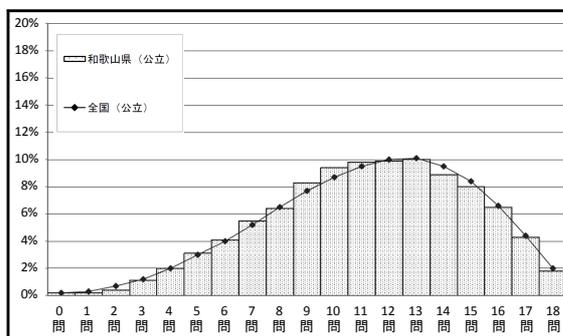
生徒質問紙	県	全国	差
H 2 4	34.1	45.5	-11.4
H 2 5	37.3	48.6	-11.3

4 教科の概要

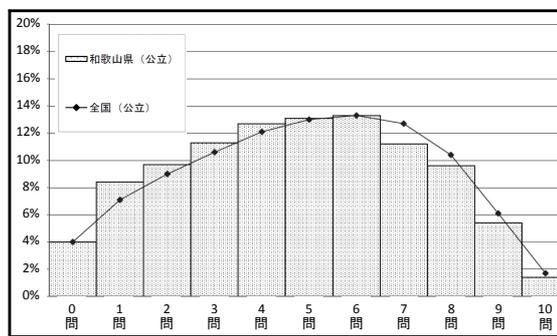
【小学校国語】

- 国語 A（知識）の平均正答率は62.4%であった。
- ◇ことわざ（急がば回れ）の意味理解は、相当数の児童ができています。[A2]二 90.4%
 - ◆複数の内容を含む文について、主語と述語との関係や接続語の役割を押さえながら文を分析的に捉えることに課題がある。[A3]二(1) 22.5%
 - ◆文が句点によって区切られることを理解することに課題がある。[A3]一 34.8%
- 国語 B（活用）の平均正答率は47.5%であった。
- ◆目的や意図に応じ、必要な内容を適切に引用して書くことに課題がある。[B2]二 24.1%
 - ◆目的や意図に応じ、複数の内容を関係付けながら自分の考えを具体的に書くことに課題がある。[B2]三 16.0%

[国語 A]	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)
和歌山県(公立)	8,765	11.2/18	62.4
全国(公立)	1,108,245	11.3/18	62.7



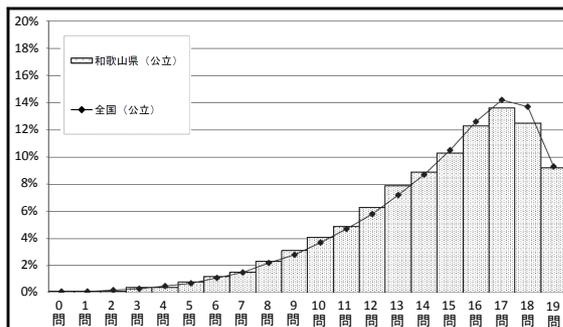
[国語 B]	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)
和歌山県(公立)	8,766	4.7/10	47.5
全国(公立)	1,108,075	4.9/10	49.4



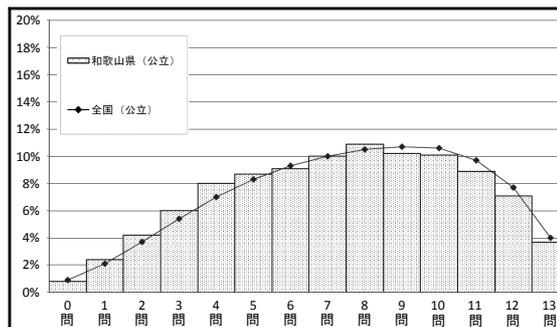
【小学校算数】

- 算数 A（知識）の平均正答率は76.4%であった。
- ◇測定の目的に応じて、計器を選択することは、相当数の児童ができています。[A5](1) 96.9%
 - ◇乗数が整数である場合の分数の乗法の計算をすることは、相当数の児童ができています。[A1](7) 91.2%
 - ◆単位量あたりの大きさを求める除法の式と商の意味を理解することに課題がある。[A4] 48.5%
- 算数 B（活用）の平均正答率は56.9%であった。
- ◇ものの位置の表し方を理解し、特定することは、相当数の児童ができています。[B4](2) 94.1%
 - ◆二つの数量の関係が比例の関係でないことを記述することに課題がある。[B2](3) 34.0%
 - ◆単位量あたりの大きさなどに着目して、二つの数量の関係の求め方を記述することに課題がある。[B4](1) 41.3%

[算数 A]	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)
和歌山県(公立)	8,766	14.5/19	76.4
全国(公立)	1,108,272	14.7/19	77.2



[算数 B]	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)
和歌山県(公立)	8,767	7.4/13	56.9
全国(公立)	1,108,107	7.6/13	58.4



【中学校国語】

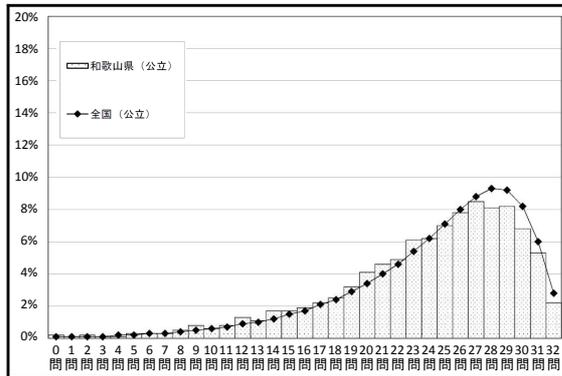
○国語A（知識）の平均正答率は74.4%であった。

- ◇漢字の楷書と行書との違いを理解して楷書を書くことは、相当数の生徒ができています。[A8]四 96.1%
- ◇文脈の中における語句の意味を理解することは、相当数の生徒ができています。[A5]一 86.2%
- ◆文の接続に注意し、伝えたい事柄を明確にして書くことに課題がある。[A3]二 45.3%

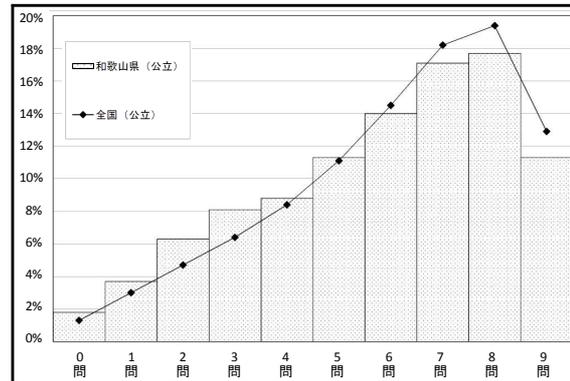
○国語B（活用）の平均正答率は64.3%であった。

- ◇文章の展開に即して内容を捉えることは、相当数の生徒ができています。[B2]一 78.1%
- ◆課題を決め、それに応じた情報の収集方法を考えることに課題がある。[B1]三 53.5%
- ◆文章の構成や表現の特徴を捉えることに課題がある。[B3]一 57.6%

[国語A]	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)
和歌山県(公立)	8,540	23.8/32	74.4
全国(公立)	1,026,851	24.4/32	76.4



[国語B]	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)
和歌山県(公立)	8,544	5.8/9	64.3
全国(公立)	1,027,087	6.1/9	67.4



【中学校数学】

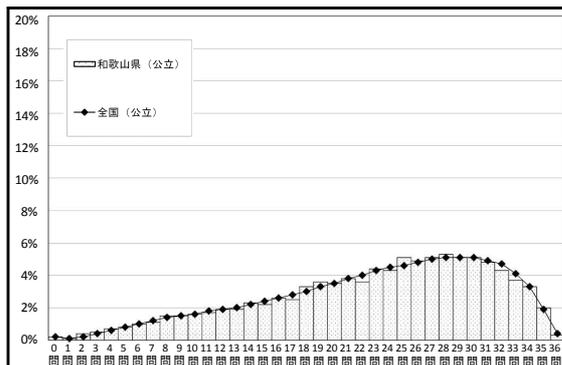
○数学A（知識）の平均正答率は63.4%であった。

- ◇与えられた図形の拡大図をかくことができることは、相当数の生徒ができています。[A4(1)] 88.3%
- ◆関数の意味を理解することに課題がある。[A9] 13.6%
- ◆与えられたヒストグラムについて、ある階級の相対度数を求めることに課題がある。[A14(2)] 21.1%

○数学B（活用）の平均正答率は40.3%であった。

- ◆事象を式の意味に即して解釈し、その結果を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。[B1](3) 21.2%
- ◆資料の傾向を的確に捉え、事柄の特徴を数学的に説明することに課題がある。[B5](2) 22.3%
- ◆事象と式の対応を的確に捉え、事柄が成り立つ理由を説明することに課題がある。[B6](3) 23.7%

[数学A]	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)
和歌山県(公立)	8,549	22.8/36	63.4
全国(公立)	1,027,458	22.9/36	63.7



[数学B]	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)
和歌山県(公立)	8,542	6.5/16	40.3
全国(公立)	1,027,411	6.6/16	41.5

